

伊豆・小笠原海溝
沖合海底自然環境保全地域
指定書及び保全計画書

令和2年12月3日

環 境 省

指 定 書

伊豆・小笠原海溝沖合海底自然環境保全地域

1. 指定理由

本地域は、日本列島の太平洋側、伊豆諸島及び小笠原諸島の東方沖合に位置する日本海溝の最南部及び伊豆・小笠原海溝の周辺の海域である。海底は水深 6,000m 以上の超深海底帯が海域の大部分を占め、人為の影響を受けにくい海域となっている。

この海域は、太平洋プレートの沈み込みに伴う急峻な斜面を有する特色ある海底地形を呈し、水深 9,000m 以上の海域が南北に連続し、世界最大の面積を有する伊豆・小笠原海溝を含むなど、海溝の地形的な特徴をよく表している。このため、この海域には、高い水圧と低い水温の過酷な環境下において、他の海域と隔離された環境に固有性又は唯一性が高い種が分布する海溝底、脆弱で低回復な種の生息環境である海山や斜面域、固有性又は唯一性の高い種が見られる湧水域等が存在し、海溝生態系を成しており、「生物多様性の観点から重要度の高い海域（沖合海底域）」（平成 27 年環境省公表）に抽出されている。

このように本地域は、海底の地形若しくは地質又は海底における自然の現象に依存する特異な生態系を含む自然環境が優れた状態を維持していると認められるため、沖合海底自然環境保全地域として保全を図る必要がある。

2. 自然環境の概要

本地域は、日本海溝の最南部及び伊豆・小笠原海溝の周辺の海域から成り、水深 6,000m 以上の海域が南北に約 1,120km にわたって連なっている。本地域の大部分を占める伊豆・小笠原海溝は、最深部の水深が 9,701m に達し、その面積は 99,801km²に及ぶ。

本地域では、こうした海溝特有の高い水圧と低い水温の過酷な環境下において、特異な生態系が成り立っている。海溝底には、海溝斜面の崩壊等により堆積物が多く堆積するためバイオマスが比較的多く、水深が深いことにより他の海域から隔離されていることも相まって、例えば、カイコウオオソコエビなど、貝類、ナマコ類、端脚類等の中でも超深海の環境に適応し、独自の進化を遂げた固有性又は唯一性が高い種が生息しており、また堆積物中の微生物相も多様でまた、固有である。

また、茂木海山、青ヶ島海山、須美須海山、鳥島海山など点在する海山や急峻な斜面域には、堆積物が堆積しづらいため固着性の種が生息しやすく、湧昇流や深層流等の海流があることから、懸濁物を餌とする冷水性サンゴ類や海綿動物などの脆弱な固着性の種が生息する。また、生きた化石と呼ばれるヨミチヒロウミユリの群集域や大型の原生動物であるゼノフィオフォアなど固有な種や脆弱な種の生息も確認されている。

さらに、一部の海域には湧水域がみられ、ナギナタシロウリガイ等から成る湧水生物群集が存在している。

3. 区域

(1) 区域の概要

本地域は、日本海溝の最南部及び伊豆・小笠原海溝周辺の海域を区域とする。

(2) 位置及び区域

茨城県大洗海岸の東方約 300km の海域を北端とし、東京都小笠原母島の東方約 100km の海域を南端とする、東西約 100～150km の帯状の区域（図 1～図 3 のとおり）

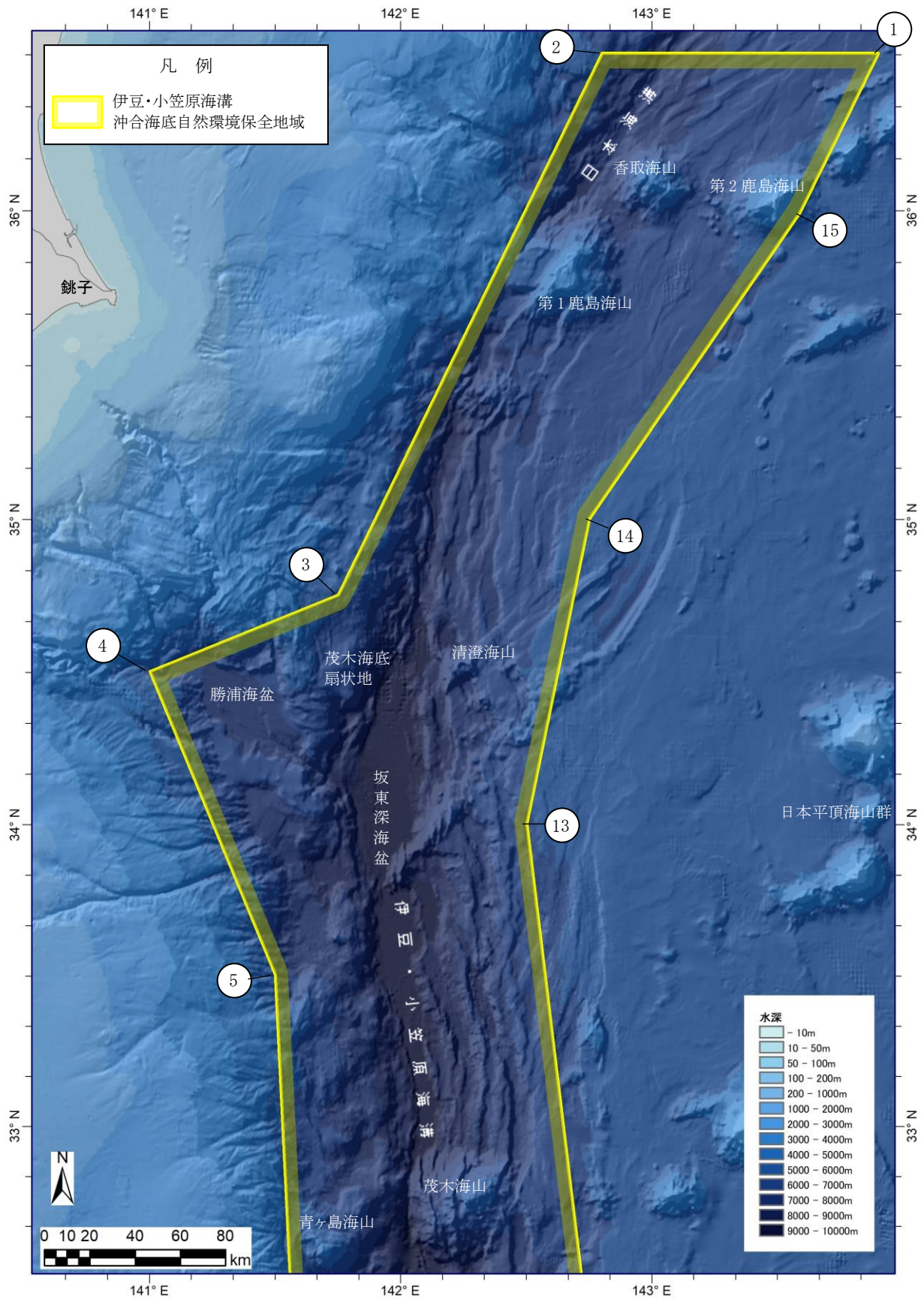
(3) 面積

115,743 平方キロメートル

(4) 海域区分関係

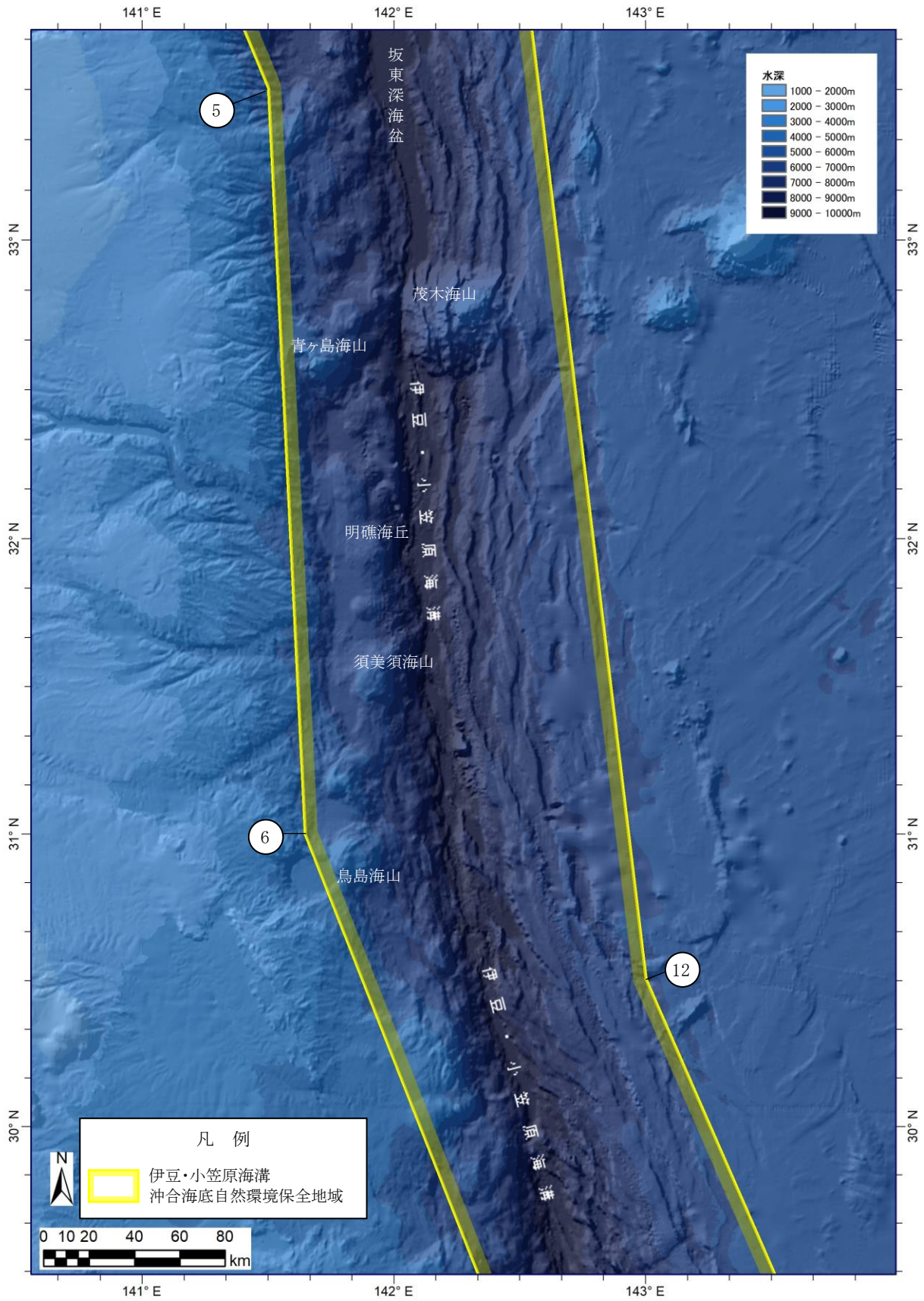
区域の全域は、我が国の排他的経済水域及び大陸棚に含まれる海域に位置する。

図1 伊豆・小笠原海溝沖合海底自然環境保全地域区域図（北部）



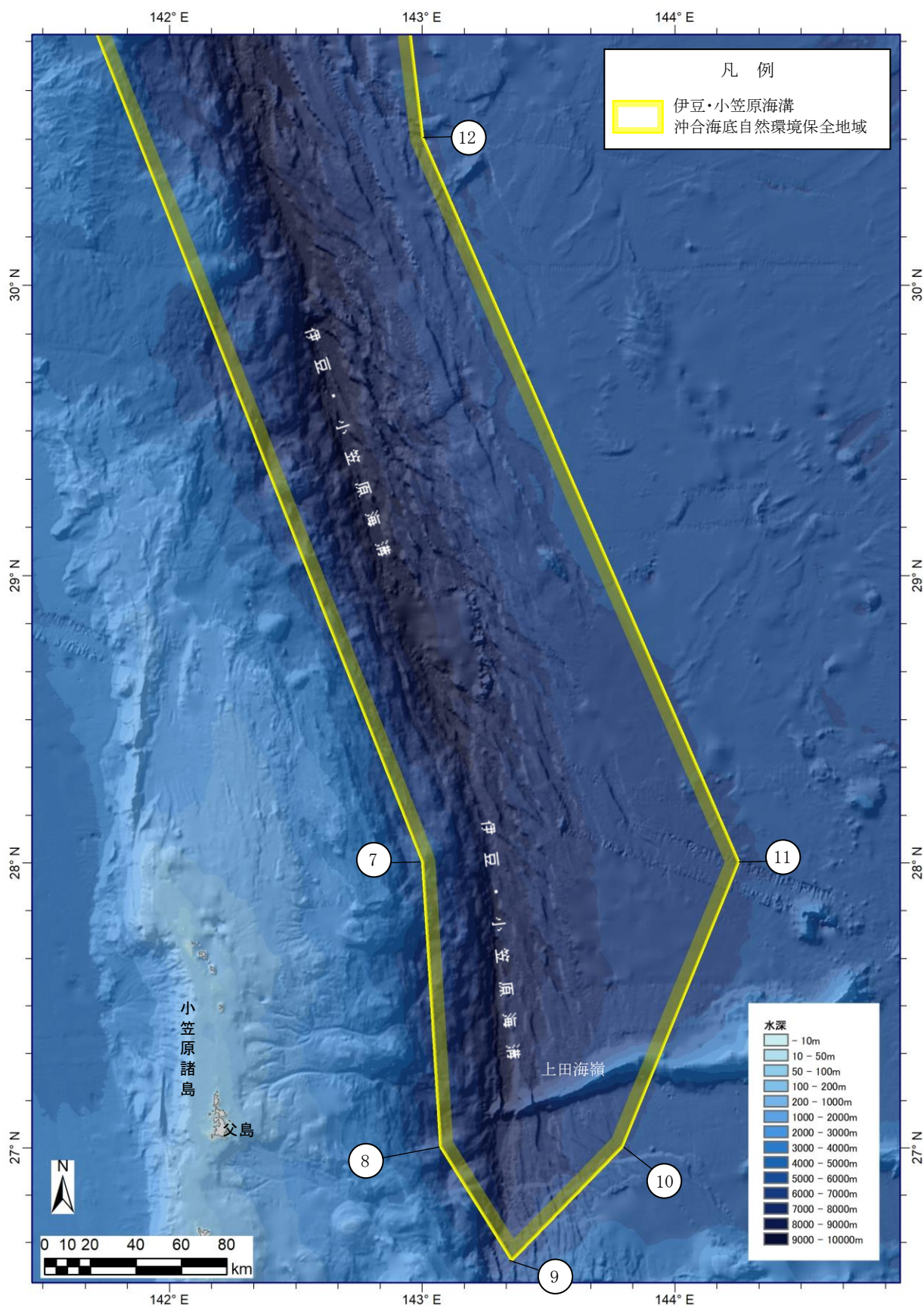
※背景図は米国 NOAA の SRTM15_PLUS を元に作成

図2 伊豆・小笠原海溝沖合海底自然環境保全地域区域図（中央部）



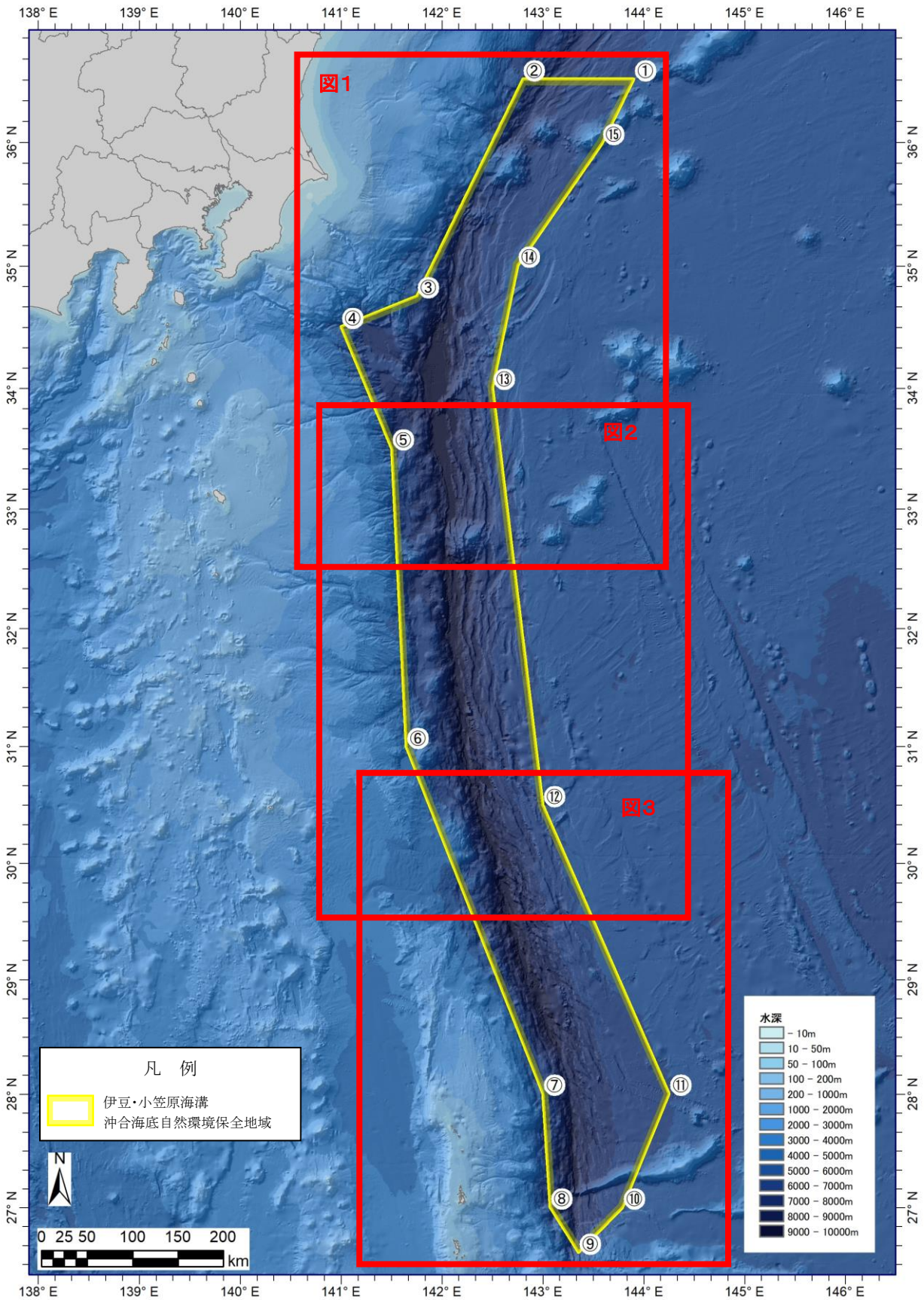
※背景図は米国 NOAA の SRTM15_PLUS を元に作成

図3 伊豆・小笠原海溝沖合海底自然環境保全地域区域図（南部）



※背景図は米国 NOAA の SRTM15_PLUS を元に作成

図4 伊豆・小笠原海溝沖合海底自然環境保全地域区域図（参考図：区域の全体）



[区域]

- ①－② 北緯 36 度 30 分 15.338 秒 東経 143 度 54 分 10.679 秒の地点と北緯 36 度 30 分 15.338 秒 東経 142 度 48 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ②－③ 北緯 36 度 30 分 15.338 秒 東経 142 度 48 分 10.679 秒の地点と北緯 34 度 45 分 15.338 秒 東経 141 度 45 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ③－④ 北緯 34 度 45 分 15.338 秒 東経 141 度 45 分 10.679 秒の地点と北緯 34 度 30 分 15.338 秒 東経 141 度 00 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ④－⑤ 北緯 34 度 30 分 15.338 秒 東経 141 度 00 分 10.679 秒の地点と北緯 33 度 30 分 15.338 秒 東経 141 度 30 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤－⑥ 北緯 33 度 30 分 15.338 秒 東経 141 度 30 分 10.679 秒の地点と北緯 30 度 59 分 54.283 秒 東経 141 度 38 分 55.968 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑥－⑦ 北緯 30 度 59 分 54.283 秒 東経 141 度 38 分 55.968 秒の地点と北緯 28 度 00 分 15.338 秒 東経 143 度 00 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑦－⑧ 北緯 28 度 00 分 15.338 秒 東経 143 度 00 分 10.679 秒の地点と北緯 27 度 00 分 15.338 秒 東経 143 度 04 分 27.311 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑧－⑨ 北緯 27 度 00 分 15.338 秒 東経 143 度 04 分 27.311 秒の地点と北緯 26 度 36 分 12.202 秒 東経 143 度 21 分 18.088 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑨－⑩ 北緯 26 度 36 分 12.202 秒 東経 143 度 21 分 18.088 秒の地点と北緯 27 度 00 分 15.338 秒 東経 143 度 47 分 30.670 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑩－⑪ 北緯 27 度 00 分 15.338 秒 東経 143 度 47 分 30.670 秒の地点と北緯 28 度 00 分 15.338 秒 東経 144 度 15 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑪－⑫ 北緯 28 度 00 分 15.338 秒 東経 144 度 15 分 10.679 秒の地点と北緯 30 度 30 分 15.338 秒 東経 143 度 00 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑫－⑬ 北緯 30 度 30 分 15.338 秒 東経 143 度 00 分 10.679 秒の地点と北緯 34 度 00 分 15.338 秒 東経 142 度 30 分 11.947 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑬－⑭ 北緯 34 度 00 分 15.338 秒 東経 142 度 30 分 11.947 秒の地点と北緯 35 度 00 分 15.338 秒 東経 142 度 45 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑭－⑮ 北緯 35 度 00 分 15.338 秒 東経 142 度 45 分 10.679 秒の地点と北緯 35 度 59 分 37.457 秒 東経 143 度 35 分 24.771 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑮－① 北緯 35 度 59 分 37.457 秒 東経 143 度 35 分 24.771 秒の地点と北緯 36 度 30 分 15.338 秒 東経 143 度 54 分 10.679 秒の地点を結ぶ直線界

※座標値は世界測地系 WGS84 に準拠

保全計画書

伊豆・小笠原海溝沖合海底自然環境保全地域に関する保全計画

1. 自然環境の保全に関する基本的な事項

(1) 保全すべき自然環境の特質

日本海溝の最南部及び伊豆・小笠原海溝の周辺の海域から成る本地域は、水深 6,000m 以上の海域が南北に約 1,120km にわたって連なっている。本地域は、千島カムチャツカ海溝、日本海溝、伊豆・小笠原海溝、マリアナ海溝という 4 つの海溝が連なる世界的に見ても類をみない海溝の連続域の中央の部分成を成しており、最深部は伊豆・小笠原海溝において 9,701m に達する（北緯 29.804 東経 142.641）。また、伊豆・小笠原海溝は世界の海溝の中で最も面積の大きい海溝であり、その面積は 99,801km²に及ぶ。この海溝の形成（太平洋プレートの移動と沈み込み）は、島弧の発達、海山の形成、熱水活動、湧水現象といった一連の現象を引き起こし、我が国における地形形成の一端を担っている。

本地域では、こうした海溝特有の高い水圧と低い水温の過酷な環境下において、特異な生態系が成り立っている。海溝底には、海溝斜面の崩壊等により堆積物が多く堆積するためバイオマスが比較的多く、水深が深いことにより他の海域から隔離されていることも相まって、貝類、ナマコ類、端脚類等の中でも超深海の環境に適応した固有性又は唯一性が高い生物が生息し、例えば、セルロースを効率的に分解することができる独自の酵素を持つカイコウオオソコエビ等がみられ、また堆積物中の微生物相も多様で固有である。一方で、点在する海山や急峻な斜面域は、堆積物が堆積しづらいため固着性の種が生息しやすく、湧昇流や深層流等の海流がある環境であり、懸濁物を餌とする冷水性サンゴ類や海綿動物等の脆弱な固着性の種が生息する。

本地域の最北部（概ね北緯 35 度以北）においては、比高 3,000～4,000m、基底の直径は南北に 50km 東西に 30km と富士山級の山体の第 1 鹿島海山がまさに日本海溝に飲み込まれようとしており、これに香取海山、第 2 鹿島海山が続いている。この第 1 鹿島海山付近の水深 5,640～5,695m の裾野にはナギナタシロウリガイから成る湧水生物群集が確認されており、固有性又は唯一性が高い種の生息環境となっている。また、同海域の水深 7,703m 地点にはヨコエビ類が多数確認され、これらのヨコエビ類を捕食するチヒロクサウオが生息するなど、非常に深い水深にも魚類が生息することが確認されている。

本地域の北部（概ね北緯 35 度以南、北緯 33 度以北）は、太平洋プレート、フィリピン海プレート及びユーラシアプレートの 3 つのプレートが交差する場所であり、そこに水深 9,000m 以深の坂東深海盆と呼ばれる海溝底が広がり、固有性又は唯一性が高い種の生息環境が形成されている。坂東深海盆近傍の茂木海底扇状地には生きた化石と呼ばれるヨミチヒロウミユリの群集域が確認されている。このヨミチヒロウミユリの群集域はウミユリ類の生息記録としては最も深い場所での記録である。また、本地域の北部には香取海山、第 2 鹿島海山、清澄海山等の非常に深い水深からそそり立つ比高の大きい海山があり、これらの海山は脆弱な固着性の種の生息環境であるとともに、その基部から山頂までの様々な水深に多様な生物が生息している。

本地域の中央部（概ね北緯 33 度以南、北緯 28 度以北）には、南北約 470km にわたって海溝底が広がっており、山体の大きい茂木海山により北部の海溝底（坂東深海盆）から地形的に隔離され、固有性又は唯一性が高い種の生息環境が形成されている。茂木海山の斜面域には脆弱

な固着性の種である海綿動物のほか、イソギンチャク、アシロ目の魚類等も確認されている。本地域の中央部周辺の斜面域には、青ヶ島海山、明礁海丘、須美須海山、鳥島海山等の海山・海丘が点在しているが、そのいずれの場所でも斜面域にウミトサカ類やキノコカイメン等の脆弱な固着性の種が確認されている。また鳥島海山には鯨類の死骸を中心に形成される鯨骨生物群集が我が国の天然のものとしては唯一確認されており、固有性又は唯一性が高い種の生息環境が形成されている。その他、本地域の中央部では胴甲動物のシンカイシワコウラムシや、大型の原生動物であるゼノフィオフォア等の固有で特異な種や脆弱な種の生息が確認されている地点が存在する。

本地域の南部（概ね北緯 28 度以南）には、中央部の海溝底と地形的に隔てられた水深 9,000m 以深の海溝底が存在している。これらの海溝底にも北部や中央部の海溝底と同様に、貝類、ナマコ類、端脚類の中でも超深海の環境に適応した固有性又は唯一性が高い種が生息する。また、本地域の南端には急斜面を有する上田海嶺が伊豆・小笠原海溝を横切るように存在しており、脆弱な固着性の種の生息環境が形成されていると考えられる。

(2) 権利制限関係等の概要

なし

(3) 沖合海底特別地区の指定及び保全のための規制に関する方針

本地域は、人為の影響が少ないため自然性が高く、海溝生態系がまとまって存在する海域である。このうち生態系の構成上、重要であり、海底の攪乱により影響を受けやすい海域として、脆弱で低回復な種及び生物群集の生息環境として重要な海山等の海域、固有性又は唯一性の高い種及び生物群集の生息環境として重要な湧水域や海溝底の海域並びにその他固有性又は唯一性の高い種及び生物群集が確認された海域を沖合海底特別地区に指定する。

2. 地区の指定に関する事項

沖合海底特別地区は表1のとおりとする。地区区分の総括表は表2のとおりである。

表1 沖合海底特別地区の指定

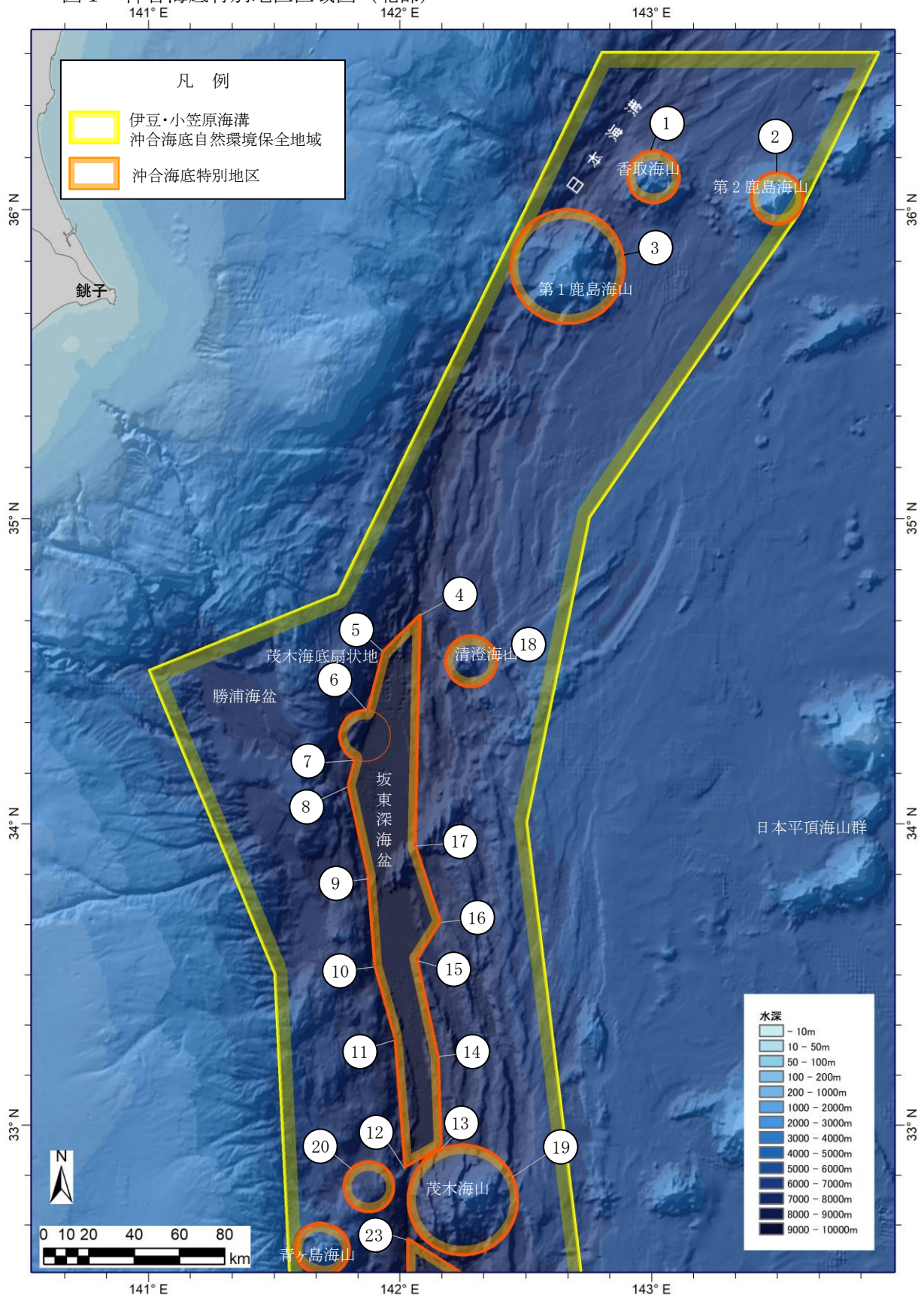
内容	位置及び区域	面積	摘要
海山等に係る沖合海底特別地区	香取海山周辺、第2鹿島海山周辺、清澄海山周辺、茂木海山周辺、青ヶ島海山周辺、明礁海丘西部海域、須美須海山周辺及び上田海嶺周辺の海域 (図1～図3のとおり)	4,239平方キロメートル	脆弱で低回復な種及び生物群集の生息環境として重要な区域(脆弱な固着性の種及び生物群集の確認地点の中心から原則5海里、比高が大きい海山の山頂から原則5海里並びに斜面の地形が顕著に発達・集中している海域の地形的な範囲を必要最小限に含むような範囲)
海溝底等に係る沖合海底特別地区	茂木海底扇状地、坂東深海盆周辺、伊豆・小笠原海溝海溝底(中央部及び南部)周辺の海域 (図1～図3のとおり)	12,013平方キロメートル	固有性又は唯一性が高い種及び生物群集の生息環境として重要な区域(固有種や特異な生物群集の確認地点から原則5海里及び固有性又は唯一性が高い種の生息環境である海溝底を地形的に代表する水深を基本とした範囲)
湧水域等に係る沖合海底特別地区	第1鹿島海山湧水域周辺の海域 (図1～図3のとおり)	1,305平方キロメートル	固有性又は唯一性が高い種及び生物群集の生息環境として重要な区域(湧水域が確認されている海域の中心から2海里的範囲)並びに脆弱で低回復な種及び生物群集の生息環境として重要な区域(比高が大きい海山の山頂から原則5海里(なお山体が大きい場合は、海山の基部から山頂まで必要最小限で5海里を超える範囲とする))
その他固有性又は唯一性が高い種及び生物群集等に係る沖合海底特別地区	鳥島海山鯨骨生物群集周辺の海域 (図1～図3のとおり)	277平方キロメートル	固有性又は唯一性が高い種及び生物群集の生息環境として重要な区域(固有種や特異な生物群集の確認地点から原則5海里)並びに脆弱で低回復な種及び生物群集の生息環境として重要な区域(比高が大きい海山の山頂から原則5海里)

表2 総括表

区分	沖合海底特別地区		沖合海底特別地区に含まれない区域		合計	
	内水及び領海（水深200メートル超の海域に限る。）	排他的経済水域及び大陸棚に係る海域	内水及び領海（水深200メートル超の海域に限る。）	排他的経済水域及び大陸棚に係る海域	内水及び領海（水深200メートル超の海域に限る。）	排他的経済水域及び大陸棚に係る海域
海域区分別面積（平方キロメートル）	0	17,833	0	97,910	0	115,743
区分別面積（平方キロメートル）	17,833		97,910		115,743	
区分別比率（%）	15.4		84.6		100	

※掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合等がある。

図1 沖合海底特別地区区域図 (北部)



※背景図は米国 NOAA の SRTM15_PLUS を元に作成

図2 沖合海底特別地区区域図（中央部）

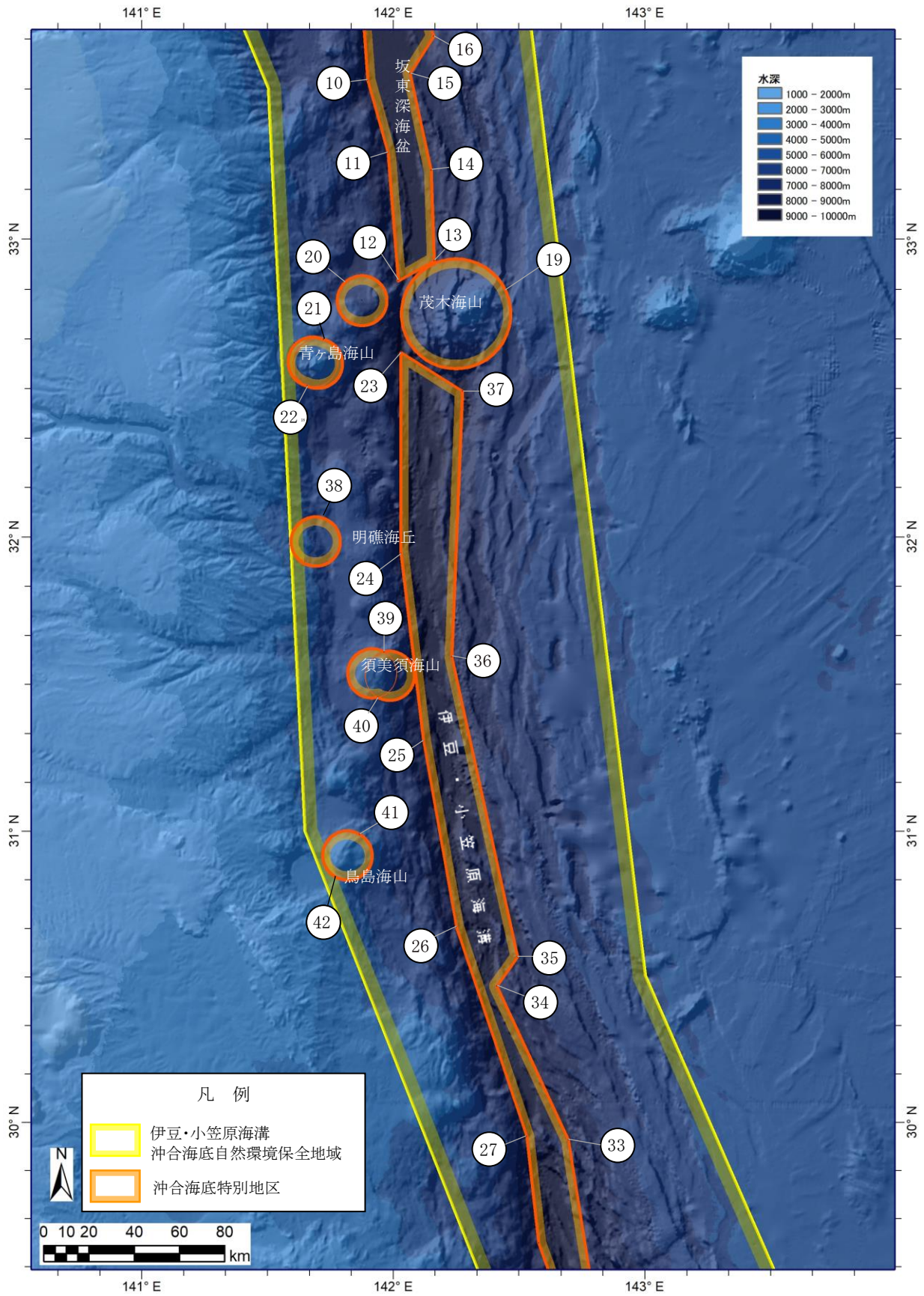
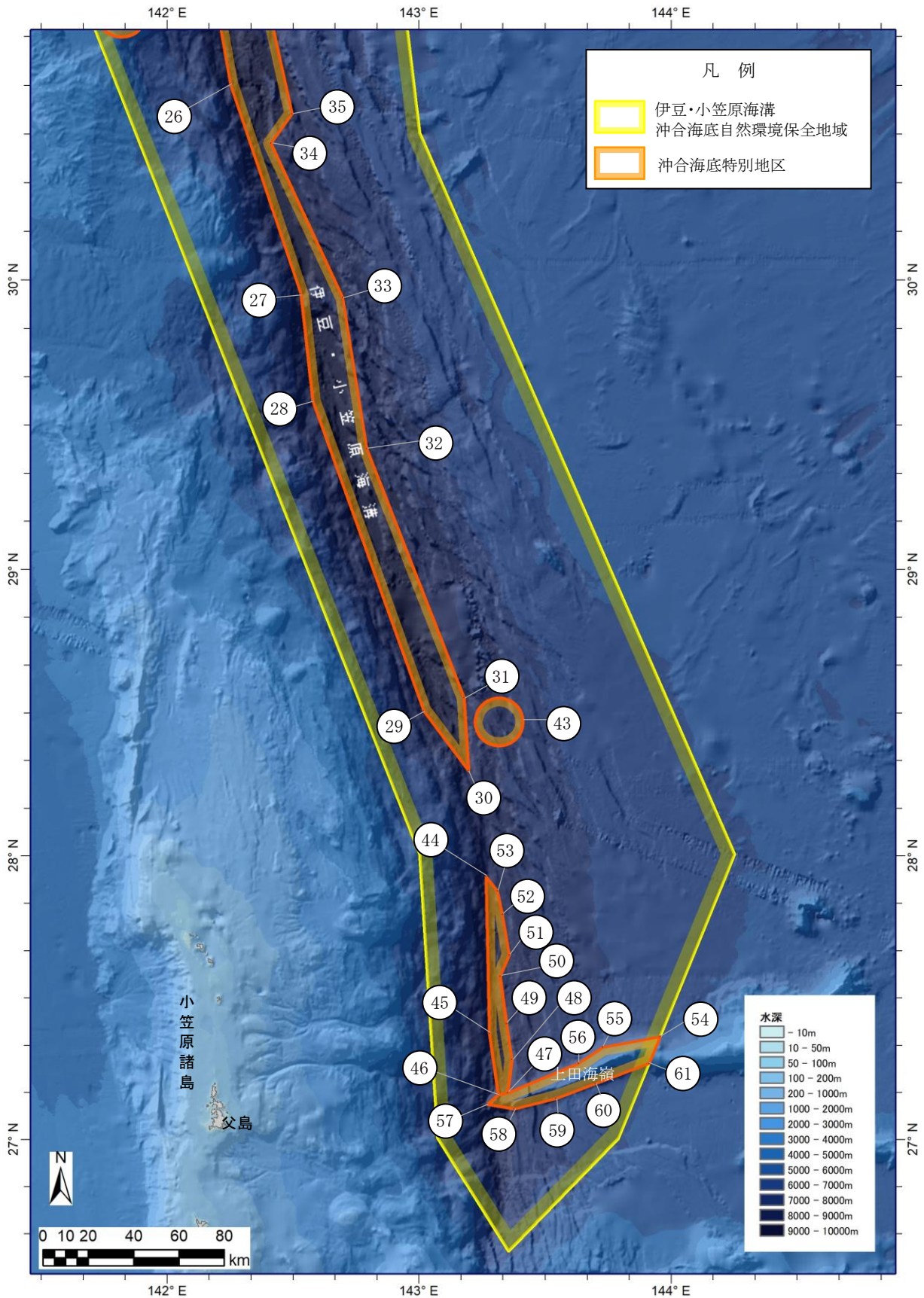
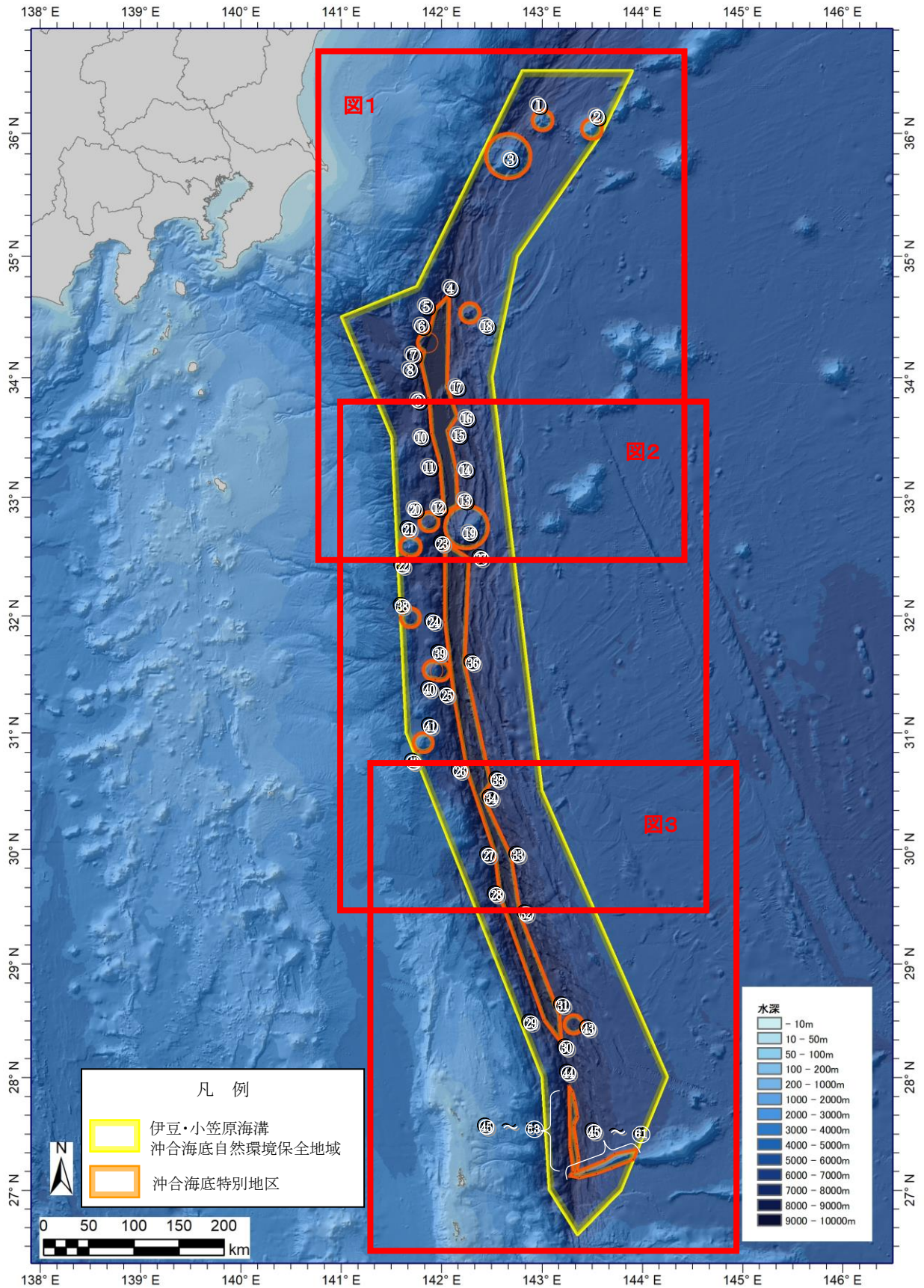


図3 沖合海底特別地区区域図（南部）



※背景図は米国 NOAA の SRTM15_PLUS を元に作成

図4 沖合海底特別地区区域図 (参考図：区域の全体)



[区域]

- ① 北緯 36 度 06 分 20.399 秒 東経 143 度 00 分 29.663 秒を基点とした半径 5 海里の円内
- ② 北緯 36 度 02 分 11.355 秒 東経 143 度 30 分 02.472 秒を基点とした半径 5 海里の円内
- ③ 北緯 35 度 49 分 00.000 秒 東経 142 度 40 分 00.000 秒を基点とした半径 11 海里の円内

以下の直線又は円弧で結ばれる範囲

- ④－⑤ 北緯 34 度 41 分 13.891 秒 東経 142 度 04 分 48.201 秒の地点と北緯 34 度 34 分 00.083 秒 東経 141 度 55 分 57.991 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤－⑥ 北緯 34 度 34 分 00.083 秒 東経 141 度 55 分 57.991 秒の地点と北緯 34 度 22 分 18.684 秒 東経 141 度 52 分 14.818 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑥－⑦ 北緯 34 度 22 分 18.684 秒 東経 141 度 52 分 14.818 秒の地点と北緯 34 度 12 分 45.316 秒 東経 141 度 49 分 12.383 秒の地点を結ぶ北緯 34 度 17 分 19.222 秒東経 141 度 51 分 41.796 秒を基点とした半径 5 海里の円弧西側
- ⑦－⑧ 北緯 34 度 12 分 45.316 秒 東経 141 度 49 分 12.383 秒の地点と北緯 34 度 07 分 29.453 秒 東経 141 度 47 分 31.881 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑧－⑨ 北緯 34 度 07 分 29.453 秒 東経 141 度 47 分 31.881 秒の地点と北緯 33 度 49 分 49.032 秒 東経 141 度 52 分 21.087 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑨－⑩ 北緯 33 度 49 分 49.032 秒 東経 141 度 52 分 21.087 秒の地点と北緯 33 度 31 分 44.512 秒 東経 141 度 53 分 57.489 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑩－⑪ 北緯 33 度 31 分 44.512 秒 東経 141 度 53 分 57.489 秒の地点と北緯 33 度 17 分 16.895 秒 東経 141 度 58 分 46.694 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑪－⑫ 北緯 33 度 17 分 16.895 秒 東経 141 度 58 分 46.694 秒の地点と北緯 32 度 51 分 34.465 秒 東経 142 度 01 分 11.297 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑫－⑬ 北緯 32 度 51 分 34.465 秒 東経 142 度 01 分 11.297 秒の地点と北緯 32 度 55 分 41.282 秒 東経 142 度 09 分 50.402 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑬－⑭ 北緯 32 度 55 分 41.282 秒 東経 142 度 09 分 50.402 秒の地点と北緯 33 度 13 分 45.334 秒 東経 142 度 09 分 05.236 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑭－⑮ 北緯 33 度 13 分 45.334 秒 東経 142 度 09 分 05.236 秒の地点と北緯 33 度 33 分 07.091 秒 東経 142 度 04 分 03.322 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑮－⑯ 北緯 33 度 33 分 07.091 秒 東経 142 度 04 分 03.322 秒の地点と北緯 33 度 40 分 30.325 秒 東経 142 度 09 分 41.303 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑯－⑰ 北緯 33 度 40 分 30.325 秒 東経 142 度 09 分 41.303 秒の地点と北緯 33 度 55 分 50.539 秒 東経 142 度 03 分 35.900 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑰－④ 北緯 33 度 55 分 50.539 秒 東経 142 度 03 分 35.900 秒の地点と北緯 34 度 41 分 13.891 秒 東経 142 度 04 分 48.201 秒の地点を結ぶ直線界

- ⑱ 北緯 34 度 32 分 00.000 秒 東経 142 度 17 分 00.000 秒を基点とした半径 5 海里の円内
- ⑲ 北緯 32 度 45 分 00.000 秒 東経 142 度 15 分 00.000 秒を基点とした半径 11 海里の円内

㊿ 北緯 32 度 47 分 39.120 秒 東経 141 度 52 分 35.400 秒を基点とした半径 5 海里の円内

以下の円弧で結ばれる範囲

- ㊿-㊿ 北緯 32 度 39 分 52.409 秒 東経 141 度 43 分 23.370 秒の地点と北緯 32 度 30 分 27.957 秒 東経 141 度 39 分 28.445 秒の地点を結ぶ北緯 32 度 35 分 20.400 秒東経 141 度 40 分 51.600 秒を基点とした半径 5 海里の円弧西側
- ㊿-㊿ 北緯 32 度 30 分 27.957 秒 東経 141 度 39 分 28.445 秒の地点と北緯 32 度 39 分 52.409 秒 東経 141 度 43 分 23.370 秒の地点を結ぶ北緯 32 度 35 分 00.000 秒東経 141 度 42 分 00.000 秒を基点とした半径 5 海里の円弧東側

以下の直線で結ばれる範囲

- ㊿-㊿ 北緯 32 度 37 分 16.536 秒 東経 142 度 01 分 53.094 秒の地点と北緯 31 度 56 分 35.800 秒 東経 142 度 01 分 53.094 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 31 度 56 分 35.800 秒 東経 142 度 01 分 53.094 秒の地点と北緯 31 度 18 分 24.379 秒 東経 142 度 07 分 14.322 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 31 度 18 分 24.379 秒 東経 142 度 07 分 14.322 秒の地点と北緯 30 度 40 分 12.958 秒 東経 142 度 15 分 05.455 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 30 度 40 分 12.958 秒 東経 142 度 15 分 05.455 秒の地点と北緯 29 度 57 分 01.725 秒 東経 142 度 31 分 51.967 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 29 度 57 分 01.725 秒 東経 142 度 31 分 51.967 秒の地点と北緯 29 度 34 分 53.986 秒 東経 142 度 34 分 43.288 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 29 度 34 分 53.986 秒 東経 142 度 34 分 43.288 秒の地点と北緯 28 度 30 分 17.844 秒 東経 143 度 01 分 08.009 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 28 度 30 分 17.844 秒 東経 143 度 01 分 08.009 秒の地点と北緯 28 度 17 分 48.314 秒 東経 143 度 11 分 50.464 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 28 度 17 分 48.314 秒 東経 143 度 11 分 50.464 秒の地点と北緯 28 度 33 分 09.165 秒 東経 143 度 10 分 46.218 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 28 度 33 分 09.165 秒 東経 143 度 10 分 46.218 秒の地点と北緯 29 度 24 分 59.677 秒 東経 142 度 47 分 32.546 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 29 度 24 分 59.677 秒 東経 142 度 47 分 32.546 秒の地点と北緯 29 度 56 分 18.895 秒 東経 142 度 41 分 51.591 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 29 度 56 分 18.895 秒 東経 142 度 41 分 51.591 秒の地点と北緯 30 度 28 分 04.843 秒 東経 142 度 24 分 43.664 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 30 度 28 分 04.843 秒 東経 142 度 24 分 43.664 秒の地点と北緯 30 度 34 分 08.901 秒 東経 142 度 29 分 43.476 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 30 度 34 分 08.901 秒 東経 142 度 29 分 43.476 秒の地点と北緯 31 度 35 分 32.306 秒 東経 142 度 14 分 01.209 秒の地点を結ぶ直線界
- ㊿-㊿ 北緯 31 度 35 分 32.306 秒 東経 142 度 14 分 01.209 秒の地点と北緯 32 度 29 分 25.994 秒 東

経 142 度 16 分 31.115 秒の地点を結ぶ直線界

③7-②3 北緯 32 度 29 分 25.994 秒 東経 142 度 16 分 31.115 秒の地点と北緯 32 度 37 分 16.536 秒 東経 142 度 01 分 53.094 秒の地点を結ぶ直線界

③8 北緯 31 度 59 分 00.600 秒 東経 141 度 41 分 30.353 秒を基点とした半径 5 海里の円内

以下の円弧で結ばれる範囲

③9-④0 北緯 31 度 36 分 34.660 秒 東経 141 度 57 分 51.298 秒の地点と北緯 31 度 27 分 19.246 秒 東経 141 度 56 分 20.913 秒の地点を結ぶ北緯 31 度 32 分 12.000 秒東経 141 度 55 分 00.000 秒を基点とした半径 5 海里の円弧西側

④0-③9 北緯 31 度 27 分 19.246 秒 東経 141 度 56 分 20.913 秒の地点と北緯 31 度 36 分 34.660 秒 東経 141 度 57 分 51.298 秒の地点を結ぶ北緯 31 度 31 分 41.880 秒東経 141 度 59 分 12.120 秒を基点とした半径 5 海里の円弧東側

以下の円弧で結ばれる範囲

④1-④2 北緯 30 度 59 分 17.696 秒 東経 141 度 52 分 00.500 秒の地点と北緯 30 度 50 分 36.596 秒 東経 141 度 46 分 11.421 秒の地点を結ぶ北緯 30 度 55 分 00.000 秒東経 141 度 49 分 00.000 秒を基点とした半径 5 海里の円弧西側

④2-④1 北緯 30 度 50 分 36.596 秒 東経 141 度 46 分 11.421 秒の地点と北緯 30 度 59 分 17.696 秒 東経 141 度 52 分 00.500 秒の地点を結ぶ北緯 30 度 54 分 54.000 秒東経 141 度 49 分 12.000 秒を基点とした半径 5 海里の円弧東側

④3 北緯 28 度 28 分 03.000 秒 東経 143 度 19 分 05.880 秒を基点とした半径 5 海里の円内

以下の直線で結ばれる範囲

④4-④5 北緯 27 度 55 分 33.156 秒 東経 143 度 15 分 57.727 秒の地点と北緯 27 度 22 分 24.416 秒 東経 143 度 16 分 44.613 秒の地点を結ぶ直線界

④5-④6 北緯 27 度 22 分 24.416 秒 東経 143 度 16 分 44.613 秒の地点と北緯 27 度 09 分 26.892 秒 東経 143 度 18 分 53.549 秒の地点を結ぶ直線界

④6-④7 北緯 27 度 09 分 26.892 秒 東経 143 度 18 分 53.549 秒の地点と北緯 27 度 09 分 50.335 秒 東経 143 度 21 分 10.299 秒の地点を結ぶ直線界

④7-④8 北緯 27 度 09 分 50.335 秒 東経 143 度 21 分 10.299 秒の地点と北緯 27 度 16 分 52.308 秒 東経 143 度 22 分 08.906 秒の地点を結ぶ直線界

④8-④9 北緯 27 度 16 分 52.308 秒 東経 143 度 22 分 08.906 秒の地点と北緯 27 度 24 分 29.829 秒 東経 143 度 20 分 52.078 秒の地点を結ぶ直線界

④9-⑤0 北緯 27 度 24 分 29.829 秒 東経 143 度 20 分 52.078 秒の地点と北緯 27 度 34 分 27.239 秒 東経 143 度 19 分 16.992 秒の地点を結ぶ直線界

⑤0-⑤1 北緯 27 度 34 分 27.239 秒 東経 143 度 19 分 16.992 秒の地点と北緯 27 度 39 分 02.648 秒 東

経 143 度 21 分 30.106 秒の地点を結ぶ直線界

- ⑤1－⑤2 北緯 27 度 39 分 02.648 秒 東経 143 度 21 分 30.106 秒の地点と北緯 27 度 47 分 36.483 秒 東経 143 度 19 分 52.156 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤2－⑤3 北緯 27 度 47 分 36.483 秒 東経 143 度 19 分 52.156 秒の地点と北緯 27 度 52 分 28.068 秒 東経 143 度 18 分 38.487 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤3－④4 北緯 27 度 52 分 28.068 秒 東経 143 度 18 分 38.487 秒の地点と北緯 27 度 55 分 33.156 秒 東経 143 度 15 分 57.727 秒の地点を結ぶ直線界

以下の直線で結ばれる範囲

- ⑤4－⑤5 北緯 27 度 21 分 46.803 秒 東経 143 度 57 分 26.182 秒の地点と北緯 27 度 19 分 29.823 秒 東経 143 度 43 分 45.196 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤5－⑤6 北緯 27 度 19 分 29.823 秒 東経 143 度 43 分 45.196 秒の地点と北緯 27 度 16 分 04.089 秒 東経 143 度 38 分 02.153 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤6－④7 北緯 27 度 16 分 04.089 秒 東経 143 度 38 分 02.153 秒の地点と北緯 27 度 09 分 50.335 秒 東経 143 度 21 分 10.299 秒の地点を結ぶ直線界
- ④7－④6 北緯 27 度 09 分 50.335 秒 東経 143 度 21 分 10.299 秒の地点と北緯 27 度 09 分 26.892 秒 東経 143 度 18 分 53.549 秒の地点を結ぶ直線界
- ④6－⑤7 北緯 27 度 09 分 26.892 秒 東経 143 度 18 分 53.549 秒の地点と北緯 27 度 07 分 25.843 秒 東経 143 度 16 分 20.112 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤7－⑤8 北緯 27 度 07 分 25.843 秒 東経 143 度 16 分 20.112 秒の地点と北緯 27 度 06 分 25.880 秒 東経 143 度 22 分 41.301 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤8－⑤9 北緯 27 度 06 分 25.880 秒 東経 143 度 22 分 41.301 秒の地点と北緯 27 度 08 分 38.654 秒 東経 143 度 32 分 36.642 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑤9－⑥0 北緯 27 度 08 分 38.654 秒 東経 143 度 32 分 36.642 秒の地点と北緯 27 度 11 分 47.107 秒 東経 143 度 42 分 02.002 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑥0－⑥1 北緯 27 度 11 分 47.107 秒 東経 143 度 42 分 02.002 秒の地点と北緯 27 度 16 分 07.718 秒 東経 143 度 54 分 49.826 秒の地点を結ぶ直線界
- ⑥1－⑤4 北緯 27 度 16 分 07.718 秒 東経 143 度 54 分 49.826 秒の地点と北緯 27 度 21 分 46.803 秒 東経 143 度 57 分 26.182 秒の地点を結ぶ直線界

※座標値は世界測地系 WGS84 に準拠

3. 保全のための規制に関する事項

法第 35 条の 4 第 3 項第 2 号及び第 3 号に規定する方法は、以下のとおりとする。

(1) 鉱物の探査を行うこと

鉱業法施行規則（昭和 26 年通商産業省令第 2 号）第 44 条の 2 第 2 項第 2 号に定める集中的サンプリング探査法

(2) 海底に生息し、又は生育する動植物を捕獲し、又は採取すること

海底に生息し、又は生育する動植物の捕獲又は採取の用に供される物を、海底又は海底に定着する動植物に断続的又は継続的に接した状態で動力船によりえい航する方法

4. 自然環境の保全のための調査に関する事項その他の当該地域における自然環境の保全に関し必要な事項

本地域の自然環境の保全に当たっては、科学的知見の充実を図ることが重要であるため、必要に応じ、関係行政機関等の協力を求め、自然環境の保全に関する情報の収集、整理及び分析並びに調査研究等を推進していくものとする。また、本地域の管理に当たっては、関係行政機関等と相互に緊密に連絡し、協力することとする。

本地域については、自然的社会的諸条件の変化も踏まえつつ、おおむね 10 年ごとに点検を行うこととする。